

検査項目をさらに充実。一步先を行く院内検査へ。

甲状腺機能検査  
T4

甲状腺機能検査  
TSH

副腎皮質機能検査  
COR

肝臓機能検査  
TBA **NEW**



動物用 免疫反応測定装置 富士ドライケム

**IMMUNO AU10V**



# 新たな検査項目が加わり、さらに対応力を増した、院内検査の新スタンダード。

院内で簡単・迅速に免疫検査を実施できる卓上タイプの測定装置です。4つの検査項目に対応し、検査センターの測定法と相関性の高い測定値を提供します。



甲状腺機能検査  
(T4・TSH\*)

副腎皮質機能検査  
(COR\*)

肝臓機能検査  
(TBA)

\*イヌのみ測定可能

## 短時間測定で、すぐ結果確認

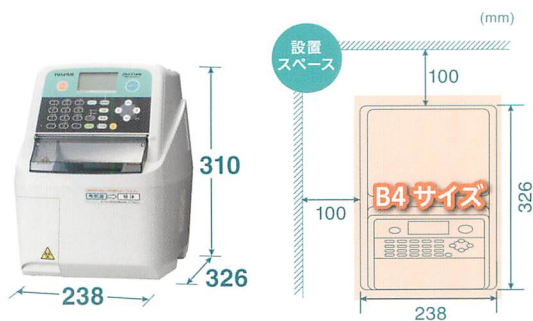
SPF※技術の採用により、洗浄が不要。スタートボタンを押してから、約10分という短時間で結果を出すことができ、素早い診断・治療をサポートします。また、モニタリング結果もすぐに確認でき、その後の処置に生かすことができます。

※ SPF: Surface Plasmon Fluorescence (表面プラズモン蛍光)



## B4サイズで、らくらく設置

卓上タイプのB4サイズだから、院内でスペースが確保できない場合でもらくらく設置。給排水設備も不要で、手軽に導入できます。



試薬をセット  
QRコード※に  
プのシンプ



富士ドライケム70  
目測定機とオート

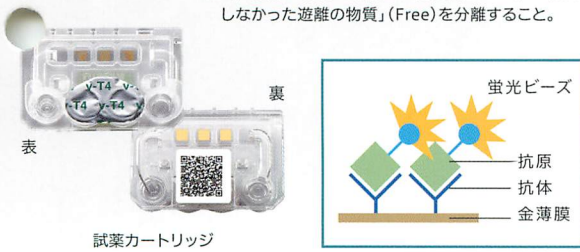


専用試薬 富士ドライケム IMMUNO AU カートリッジ

富士フィルムの技術で測定感度維持と時間短縮を実現

富士フィルムの技術を組み合わせ、小さなカートリッジ内で表面プラズモン蛍光測定により、T4、TSH、COR、TBA測定に必要な測定感度と測定時間の短縮を実現。金薄膜上の表面プラズモンによって増強された蛍光物質のみを検出することで、余分な蛍光物質を洗浄するためのB/F分離※を不要。簡単に使える、院内検査に適した分析装置です。

※ B/F分離：「抗体と結合した物質」(Bound)と「結合しなかった遊離の物質」(Free)を分離すること。



信頼に応える高精度な検査

卓上タイプの検査装置でありながら、検査センターで使用されている大型装置との高い相関性を示しており、いずれの項目でも高精度な検査結果を提供します。右記のグラフはCLEIA法(T4・TSH・COR)、酵素サイクリング法(TBA)と比較した結果です。

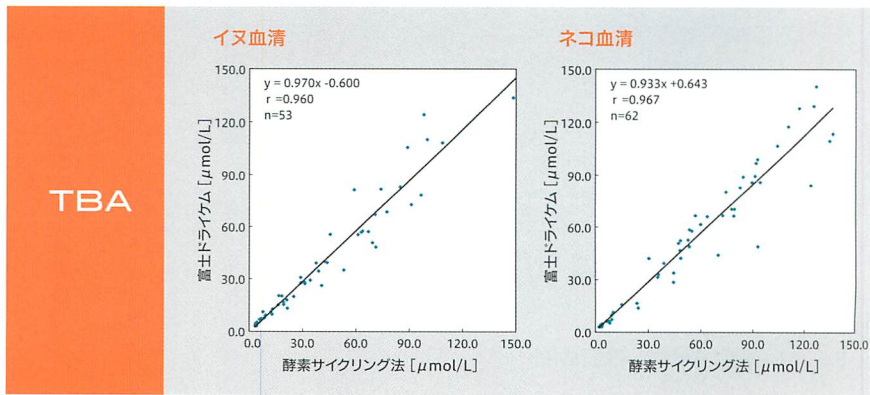
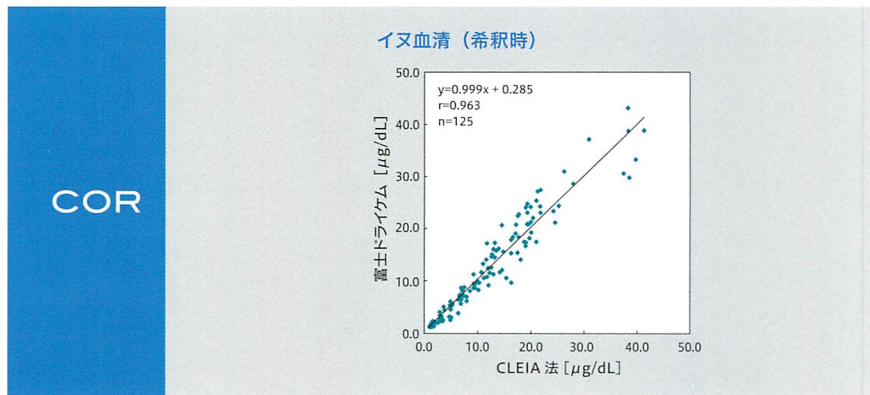
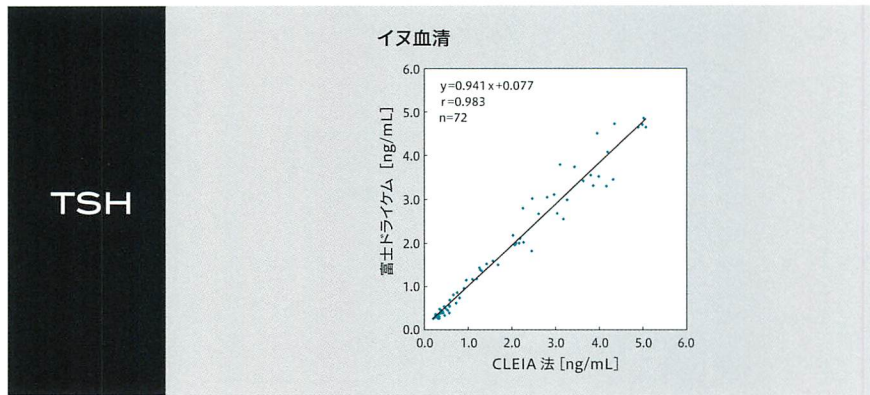
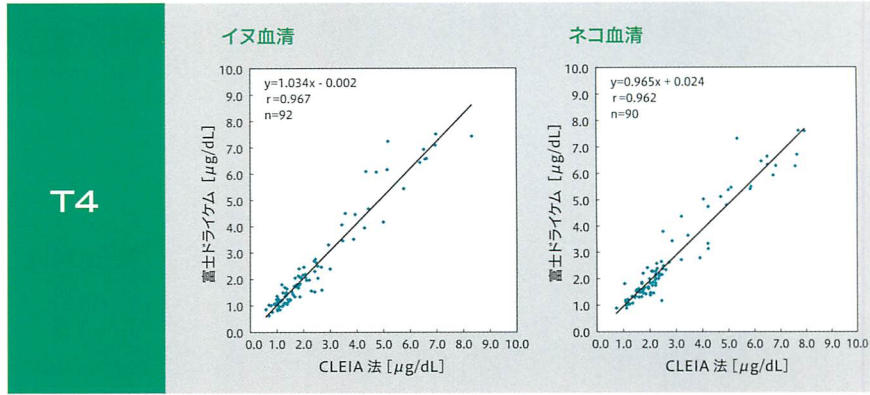
2ステップの簡単測定

スタートボタンを押したら、あとは結果を待つだけの簡単測定。自動校正で、面倒なキャリブレーションも不要です。2ステップの簡単操作で、手軽に検査が行えます。



※ 00V「Z」・NX500Vシリーズなどの生化学多項チップ、検体容器(富士チューブ)が共用可能。

※ QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



幅 238 高さ 310 奥行き 326 (mm)



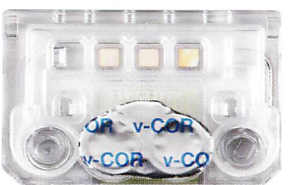
甲状腺機能検査

**T4**



甲状腺機能検査

**TSH**



副腎皮質機能検査

**COR**



**NEW**



肝臓機能検査

**TBA**



付属品(別売品)

富士ドライケム IMMUNO  
AU カートリッジ v-T4

項目	T4
対象検体	イヌ血清、ネコ血清 イヌ血漿、ネコ血漿
測定範囲	0.50~8.00 $\mu$ g/dL
測定時間	約10分
測定検体量	100 $\mu$ L
方法	蛍光抗体法



付属品(別売品)

富士ドライケム IMMUNO  
AU カートリッジ vc-TSH

項目	TSH
対象検体	イヌ血清、イヌ血漿
測定範囲	0.25~5.00ng/mL
測定時間	約10分
測定検体量	100 $\mu$ L
方法	蛍光抗体法



付属品(別売品)

富士ドライケム IMMUNO  
AU カートリッジ v-COR

項目	COR
対象検体	イヌ血清、イヌ血漿 (血漿は希釈測定の場合のみ)
測定範囲	1.0~30.0 $\mu$ g/dL (希釈測定の場合 1.0~50.0 $\mu$ g/dL)
測定時間	約10分
測定検体量	100 $\mu$ L (希釈測定の場合 20 $\mu$ L)
方法	蛍光抗体法



付属品(別売品)

富士ドライケム IMMUNO  
AU カートリッジ v-TBA

項目	TBA
対象検体	イヌ血清、ネコ血清 イヌ血漿、ネコ血漿
測定範囲	2.0~150.0 $\mu$ mol/L
測定時間	約10分
測定検体量	100 $\mu$ L
方法	蛍光抗体法



# 検査データ処理支援システムでAU10Vの検査結果も一元管理

富士ドライケム検査データ処理支援システム

## MiniNet-NeoV

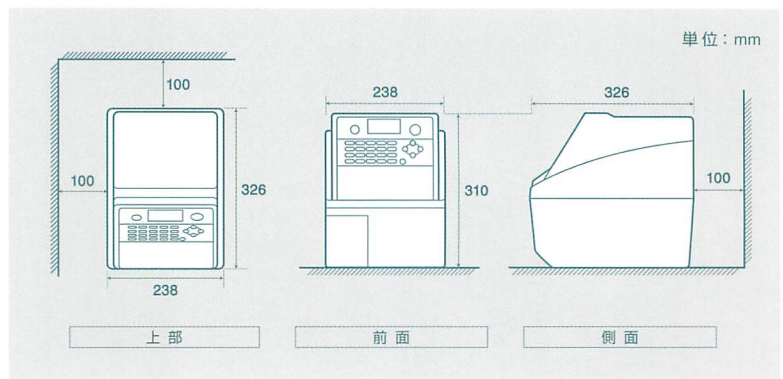
- 生化学分析装置FDC7000V「Z」・NX500Vとの接続によりオーダーリングが可能
- 院内検査機を6台まで接続可能
- データバックアップ機能
- 検査センターへの依頼、データ回収が可能
- 希望のグラフを5項目まで一度に表示可能



### ■ 動物用免疫反応測定装置

販売名	富士ドライケム IMMUNO AU10V
承認番号	23動薬第1450号-2
クラス分類	動物用 管理医療機器
測定方式	表面プラズモン増強を利用した蛍光測定方法
測定項目	T4(サイロキシン)、TSH(甲状腺刺激ホルモン)、COR(コルチゾール)、TBA(総胆汁酸)
データ保存数	100テスト
ウォームアップ時間	3分(電源ONから測定可能状態になるまでの時間)
電源	AC100V±10V 50/60Hz 2.0A
寸法	W238×D326×H310mm
重量	約7kg

### ■ 寸法と設置スペース



### ■ 動物用管理医療機器付属品(別売品)

販売名	富士ドライケム IMMUNO AU カートリッジ v-T4	富士ドライケム IMMUNO AU カートリッジ v-C-TSH	富士ドライケム IMMUNO AU カートリッジ v-COR	富士ドライケム IMMUNO AU カートリッジ v-TBA
項目	T4	TSH	COR	TBA
対象検体	イヌ血清、ネコ血清 イヌ血漿、ネコ血漿	イヌ血清、イヌ血漿	イヌ血清、イヌ血漿 (血漿は希釈測定の場合のみ)	イヌ血清、ネコ血清 イヌ血漿、ネコ血漿
測定範囲	0.50~8.00 μg/dL	0.25~5.00 ng/mL	1.0~30.0 μg/dL (希釈測定の場合 1.0~50.0 μg/dL)	2.0~150.0 μmol/L
測定時間	約10分	約10分	約10分	約10分
測定検体量	100 μL	100 μL	100 μL (希釈測定の場合 20 μL)	100 μL
方法	蛍光抗体法	蛍光抗体法	蛍光抗体法	蛍光抗体法

### ■ オプション



### ■ 消耗品

富士チューブ(ヘパリン)  
1.5mL×500本/1箱 0.5mL×500本/1箱

富士チューブ(プレイン)  
1.5mL×500本/1箱 0.5mL×500本/1箱

富士チューブ(凝固促進タイプ+分離剤)  
1.2mL×200本/1箱

オートチップ  
96本/ラック×6

●本カタログの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。装置を正しく使っていただくために、必ず取扱説明書をお読みください。

# FUJIFILM

製造販売業者  
富士フイルム株式会社

販売業者  
富士フイルムメディカル株式会社 販売部  
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 TEL. (03) 6419-8035(代)

<http://fms.fujifilm.co.jp>



富士フイルムメディカル株式会社は、  
個人情報の保護に全社をあげて  
取り組んでいます

DRI-CHEM AU10V-1610-FP(KP)-5000-9